

(令和3年10月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水 産 物 全 般	１０月に入り、緊急事態宣言が解除され、下旬には飲食店等の営業時間短縮の要請も解除されたことから、徐々に需要の回復が見られ、総入荷量は前年同月比で６％下回り、総取扱金額は、前年同月比で４％下回った。 １１月は、棒だらの入札が行われるとともに日本海西部海域におけるずわいがに漁が解禁となり、年末需要に向けた商品の入荷が本格化する。 棒だらを甘辛く煮た棒だら煮は、京都のおせち料理には欠かせない食材である。調理するためには、水に浸し、毎日水を取り替えて戻すという作業が１週間ほどかかるが、風味がよく、上品な味が味わえる。表面が飴色でよく乾燥した肉厚のものがお勧めである。最近では、棒だら煮風の商品も流通しているが、代々伝えられてきた伝統の味を味わっていただきたい。
鮮 魚	鮮魚の入荷量は前年同月比で６％下回り、単価は４％上回った。 品目別には、さけ、よこわの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。さわら、はまち（天然）の入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。
冷 凍 魚	冷凍魚の入荷量は前年同月並みとなったが、単価は、海外での需要の増加による値上がりから前年同月比で８％上回った。 品目別には、冷さけの入荷量は前年同月を上回り、単価は海外需要の増加における値上がりから上回った。冷えびの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。
加 工 水 産 物	加工水産物の入荷量は前年同月比で９％下回ったが、単価は需要の伸びが見られなかったことから前年同月並みとなった。 品目別には、干かれいの入荷量は前年同月を下回り、単価は中小サイズを中心の入荷であったことから下回った。ちりめんの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚) ま あ じ ま い わ し さ ば す る め い か 太 物 よ こ わ ひ ら め	長崎，山口で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で２７％下回り，単価は８％上回った。 愛知，鳥取で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で４％上回り，単価は１３％下回った。 韓国，宮城で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で１８％下回り，単価は２１％上回った。 宮城，長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で１１％下回り，単価は，中小サイズ中心の入荷であったことから前年同月並みとなった。 総入荷量は，前年同月比で４％下回り，単価は１０％上回った。 宮城，和歌山で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で５０％下回り，単価は６％上回った。 韓国，宮城で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で３％下回り，単価は７％上回った。

※ 太物：まぐろ，きはだ，めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚) 冷 さ ば 冷 す る め い か (加工水産物) 塩 さ ば 干 か れ い	入荷量は前年同月比で１７％下回ったが、単価は、中小サイズ中心の入荷から前年同月並みとなった。 入荷量は前年同月比で５８％上回ったが、単価は、国内物を主体とする入荷であったことから３％上回った。 入荷量は前年同月比で２０％下回ったが、単価は需要の増加が見られなかったことから前年同月並みとなった。 入荷量は前年同月比で３％下回ったが、単価は、中小サイズ中心の入荷であったことから、３％下回った。